

下田市内の指定文化財

下田市指定天然記念物

大 公 孫 樹

所在地 横川 諏訪神社
 指定日 昭和46年9月6日



諏訪神社の大公孫樹

松崎方面に向かう県道から横川の集落へ入っていくと、

右手の高台にひときわ大きなイチヨウの木を見ることが出来ます。この木は下田市内で最も立派なイチヨウの木として天然記念物になっています。

公孫樹はイチヨウの漢名です。中国原産の落葉大高木で、病害虫に強く、長命なことから日本各地に街路樹や庭木として植えられており、木にオスとメスがあること(雄雌異

株)が知られています。春になると目立たない花をつけ、葉は秋になると黄色くなり、やがて落葉します。実は銀杏

といい、食用にされています。諏訪神社の大公孫樹

諏訪神社の階段を登り、鳥居をくぐると右手に大公孫樹があります。樹齢は推定400年といわれており、根回り約7メートル、樹高約20メートルの堂々とした雄木です。

周囲に風除けとなるようなものもなく、長い間、風雨にさらされてきましたが、今まで倒れたり、落雷を受けることもなく、横川の集落を守ってきました。



堂々たる風格

諏訪神社

横川地区の神社には中世の棟札(建築工事の由来や年月、願主、大工の名を記した木札)

が多く残っており、同地区の水神社には文和4年(1335)銘のある下田市最古のものもありました。諏訪神社にも延徳3年(1491)の棟札を含む6点の中世棟札が残存しており、このことは横川地区が早くから村落として発達し、寺社を造営する力を持っていたことを物語っています。



横川 諏訪神社

秋の深まりとともに、大公孫樹の葉は美しい黄色へと変化していきます。みなさんぜひ一度、大公孫樹と、古い歴史をもつ横川の神社を、ごらんになってください。

下田駅より松崎方面バス
 横川バス停下車 徒歩5分
 問合せ先 生涯学習課
 ☎5055

私のすすめるこの1冊

— 教員編(その1) —

あした花になる

誰よりも強いカマキリが、美しい花に恋をして、花になりたいと祈りつづけるお話です。

一つの出会いによって、心がこんなにも変わってしまうのだなと感じる一冊です。何があっても祈りつづける姿には、心を打たれます。絵本なので、ぜひ読んでみてください。



吉岡 和佳子(下田小学校)

新訳 星の王子さま

世界でも有名なこのお話は、子どもの心を忘れてしまった大人に向けた童話です。さまざまなお話を通して、友情、愛情そして生き方について語られています。大切なものは目に見えない」と作品にあります。毎日忙しい生活を送る私たちに大切なものを気づかせてくれるような気がします。忘れかけた何かを見つけてみませんか。



渡邊 美穂子(下田中学校)

紹介されている図書は図書館で貸し出ししています。

図書館利用にあたってのお願い

- 返却期限を守りましょう
- 図書館の本はたくさんの方が使います。大切に扱ってください

問合せ先 市立図書館
 ☎20352

平成19年成人式

日時 平成19年1月7日(日) 午前11時
 場所 市民文化会館大ホール
 対象者 昭和61年4月2日〜昭和62年4月1日生の方
 下田市に住み登録平成18年9月10日現在(してある対象者には案内状をお送りします。)
 下田市に住み登録をしていない対象者で、下田市での成人式に参加されたい方は、電話で申し込んでください。
 申込期限 11月17日(金)

「成人宣言」代表者募集

成人式で「成人宣言」をする代表者を募集します。
 対象者 下田市の成人式に出席される方
 募集人員 男性1名、女性1名 計2名(予定)
 応募者多数の場合は抽選。

その他 代表者には宣言文作成のため事前にご参集いただき、成人式当日は開式前にリハーサルをしていただきます。
 申込期限 11月17日(金)
 申込・問合せ先 教育委員会生涯学習課
 ☎5055

樹のたまご vol.59

昭和57年にチューリップで有名な富山県砺波市が「花の都市提携交流構想」を提案し、アヤマの山形県長井市、スイセンの下田市、ユリの鹿児島県和泊町の賛同によって、「フラワー都市交流連絡協議会」がスタートしました。その後、ラベンダーの中富良野町、ツツジの久留米市、ポタンの須賀川市、キクの武生市、スミレの宝塚市、バラの岐阜県大野町、ツバキの萩市が参加をし、全国11都市がそれぞれの花をシンボルに交流を続けています。毎年会長都市で開催される総会に市民の皆さんと一緒に参加するのが楽しみです。今年にはキクの越前市(武生市が合併して新市名)へ、森温繁議長をはじめ市民交流団18人で訪問してきました。

ちょうど下田は各地域の秋まつりと重なり、例年より参加者が少なかったのですが、バスは大型で席をゆったりとれ結果的には楽な旅ができました。途中黒壁スクエアで有名なびわ湖畔長浜に寄りましたが、NHK大河ドラマ「功名が辻」の放映効果もあり、まち歩きMAPを持つ

た観光客であふれていました。同じ観光地から来た我々にとつては、このにぎわいぶりはまさにうらやましい限り。南豆製氷を中心とした古い建物を生かしたまちづくりをしようとする下田にとって大いに参考になりました。

翌日に水仙の花が1年中楽しめる水仙ドームや、日本海の越前クワゲを見ることが出来、全員で大歓声。紫式部公園や菊の花で飾られた菊花大五重の塔、たけふ菊人形を鑑賞してきました。私は市長になってから砺波市、大野町、中富良野町、萩市、須賀川市、越前市を皆さんと共に訪問してきましたが、毎年素晴らしい花との出会いに感動いたします。来年は6月にアヤマの山形県長井市で開催されます。「見事なアヤマをぜひ見に来てください。山形名物のサクランボも腹一杯食べられるよう用意してお待ちしますよ！」と黒岩樹市長が一生懸命PRしていました。

皆さん、来年きれいなアヤマの花とサクランボを食べにぜひ行きましょう！



下田市長 石井直樹

イソギク祭り開催

【期間】11月1日〜30日

11月1日〜30日まで、白浜原田地区において、イソギク祭りが開催されています。白浜地区を流れる下条川の土手750メートルに渡り、品種改良を重ねた、色とりどりの可憐なイソギクが、約100万輪、まるで絨毯を敷き詰めたように咲き誇ります。



早咲き、中咲き、遅咲き、きくもみじ、と10日間程度の間隔で開花し、初旬と下旬では色合いが異なり何度も楽しめます。ここ白浜でしか目にすることができないオリジナルのイソギクを見ながら、白浜の海岸線を散策してみてください。

アクセス 伊豆急下田駅より白浜方面行きバスで、レスポ白浜前バス停下車徒歩3分

イソギク

原産地は関東南部から静岡県御前崎で、海岸の岩地などに自生する耐寒性のキク科の多年草です。10月から12月に開花し、花は花弁のような舌状花はなく、菊の中心部が集まったような独特な花です。葉は裏側が白く緑に銀縁をしたように見えます。

下田市では、爪木崎、白浜海岸あたりで多く見受けられます。いそぎく、いそ菊、磯菊などさまざまな表現があるようですが、晩秋の海沿いの風物詩として、地元の人々に愛されています。



問合せ先 下田市観光協会
 ☎1531